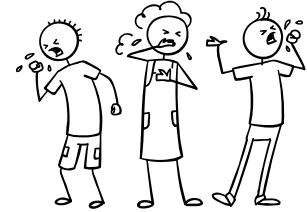


レッスン：

Health & Sickness 「健康と病気」



概要：

所要時間：	40 分から 1 時間
目的：	健康と病気について、質問し話す
基本文：	"What's wrong?" "What's the matter with you?"
学習する単語：	a headache, a cough, a stomachache, a sore throat, a runny nose, an earache, a cold

ダウンロードしていただく資料：

絵カード：	headache, cough, stomachache, sore throat, runny nose, earache, cold
印刷可能な資料：	<ul style="list-style-type: none">• What's Wrong Song 1 ワークシート• What's Wrong Song 2 ワークシート• What's Wrong? What's the Matter? の歌のポスター• 「ウォームアップ」及び「まとめ」レッスンシート
リーダーズ：	Mr. Stretch Feels Sick
歌：	What's Wrong? What's the Matter?

上記の資料は <http://www.kodomoeigokyozei.jp/esl-kids-lesson-plans.html> からダウンロードできます。

その他に用意するもの：

- クレヨンまたは色鉛筆
- CD プレーヤー、カセットデッキまたは音楽を再生できる機器
- 黒板とチョークまたは白板とマーカー
- ブル・タック（黒板（白板）にフラッシュカードを貼って剥がせる粘着ゴム）
- 仮装用の医者白衣や、あれば、おもちゃの聴診器

メモ：

このレッスンは、便利な語彙や基本文を覚えるのに適しています。楽しく学ぶのに役立つ、シンプルな歌もついています。

レッスンの概要

ウォームアップと復習：

1. 「ウォームアップ」 レッスンシートを参考にしてください。

新出内容とレッスンの実施方法：

1. 「What gesture?」 をする
2. 病気に関する語彙を教え、練習する
3. 基本文を教える
4. ペアで「What's Wrong」カードを遊ぶ
5. リーダーズの「Mr. Stretch Feels Sick」を読む
6. 「What's Wrong? What's the Matter?」を歌う
7. 「What's Wrong Song 1」ワークシートをやる
8. 医者／患者のロールプレー

まとめ：

1. 宿題を出す：「What's Wrong Song 2」のワークシート。
 2. 「まとめ」 レッスンシートを参考にしてください。
-

レッスンの流れ：

ウォームアップと復習：

「ウォームアップ」及び「まとめ」 レッスンシートを参考にしてください。

新出内容とレッスンの実施方法：

1. 「What gesture?」をやる

生徒に健康のフラッシュカードのセットを渡すか（歌に出てくる語彙）、あるいは「What's Wrong? What's the Matter?」歌ポスターを全員に配り、画像を切り取るように説明してください。

教室の前に立ち、病気に関する語彙のうちの一つを演じてください（例：「headache」の場合、頭を抱えてうなる）。生徒は、先生が演じている病気をフラッシュカード、または歌ポスターから切り取った画像を使って当てます。演じる時にその語彙が分かるよう、はっきりと言いましょ（例：「Oh no ... I have a headache!」）。

今度は、生徒にペアを組んでもらい、一人が演じ、もう片方が当てるとう練習をしてもらいましょ。

ここで生徒が英単語を言っていなくても焦らないでください。これから学んでいきますのでご安心を。



2. 病気に関する語彙を教え、練習する

全員に、手元にある画像を一度置いて、前の白／黒板に注目するようにしましょ。病気のフラッシュカードを用意し、両面の上の部分にブル・タック（粘着テープ）を付けておきましょ。カードの絵の面を表にして、ランダムに白／黒板に貼り付けてください。そして、一枚を指差し（例：sore throat）、それを全員で3回繰り返して言いましょ。次のカードも差し、3回繰り返して言い、そのように最後のカードまで続けてください。

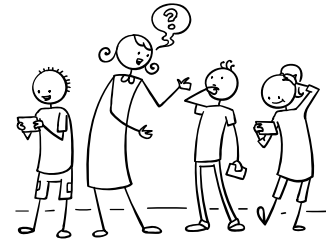
次の練習では、カード一枚を指差し、それを言ってもらった後（先生：「What's this?」；生徒：「Sore throat」）、そのカードを裏返しまだ貼り付けます。そこでまたそのカードを差し、「What's this?」と同じ質問をし、生徒から裏になったカードの答えを引き出しましょ（Sore throat）。その作業を繰り返し、最終的には、全てのカードが裏返っている状態にしてください。



最後に、カードが裏返った状態で同じ作業を繰り返し、生徒から答えを引き出してください。子供達の記憶力に驚かされるはずですよ！

3. 基本文を教える

「What's wrong?」「What's the matter with you?」「I have a/an ...」の練習です。カードを一枚剥がし、生徒に渡します。その生徒に「What's wrong?」または「What's the matter (with you)?」と質問します。その生徒は、渡されたカードに合った返答をしますが、分からない場合は、教えてあげましょう（例：I have an earache）。次のカードを剥がし、別の生徒に渡し、同じ質問をしてください。生徒は、カードに合った返答をします。このように、全てのカードでも行ってください。

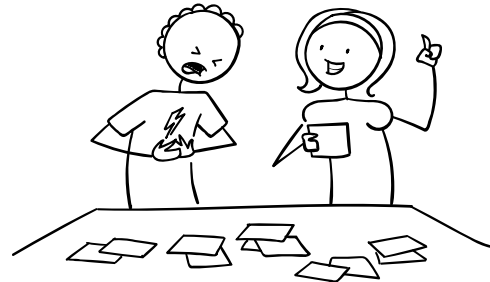


次のステップでは、先生は、5秒ほど目をつむる事を伝えます。その間に、生徒に手持ちのカードを他の子と交換してもらうように言います。先生は目を閉じ、その間に生徒はカードを交換します。目を開け、「What's wrong?」と、一人の生徒に問いかけましょう。その生徒は、自分のカードに合った返答をしてください。それを他の生徒にも行ってください。子供たちが楽しんでいるようなら、またカードを交換してもらい、同じ練習を繰り返しましょう。

4. ペアで「What's Wrong」カードを遊ぶ

全員にペアになってもらい、それぞれのカードセットを絵を下にした状態で机の上に重ねてもらいます。生徒Aは、生徒Bに見えないようにカードをひきます。生徒Bは、

「What's wrong?」または「What's the matter with you?」と生徒Aに尋ね、生徒Aは、手持ちのカードに合った返答をしましょう（例：I



have a stomachache)。それを生徒Bは、ジェスチャーしてください。もしも、生徒Bのジェスチャーが生徒Aの答えに当てはまっていれば、生徒Bは正解としてカードを持っていきましょう。カード一枚に対して、1ポイントです。最後に一番多くポイントをとった生徒が勝ちとなります。

5. リーダーズの「Mr. Stretch Feels Sick」を読む

楽しいお話を追いながら、語彙を強化して行きましょう。レッスンの前に、こども英語教材のウェブサイトからリーダーズの「Mr. Stretch Feels Sick」をダウンロードし、印刷しておいてください。読むときは、絵を指差しながら、子供達から体の部位や病気のキーワードを引き出します。その時、Mr. Stretchが行っているジェスチャーを真似するようにしましょう。例えば、

先生: (3 ページ) Oh dear, look at poor Mr. Stretch! What is he holding? (頭を指差して)

生徒: His head!

先生: Yes, Look how big it is! What's wrong with Mr. Stretch?

生徒: He has a headache!

先生: Yes, that's right! (読んで) "I have a headache". Everyone copy Mr. Stretch!

(生徒は、頭を押さえて頭痛があるジェスチャーをする)

先生: (4 ページを読んで) "What else is wrong, Mr. Stretch?". What is Mr. Stretch touching?

生徒: His ear!

先生: Yes, Look how big it is! What's the matter with Mr. Stretch?

生徒: He has an earache!

先生: Let's see ... (読んで) "I have an earache". Oh poor Mr. Stretch! He has a headache and an earache! Everyone copy Mr. Stretch.

(生徒は、耳を押さえて、耳が痛いジェスチャーをする) など。

子どもたちに、たくさん質問することで、深くお話に入っていけるようにしましょう。お話に出てくる体の部分に触れながら、病気の語彙も言ってもらいましょう。

6. 「What's Wrong? What's the Matter?」を歌う

さて、全ての基本文、語彙、ジェスチャーを練習したことから、今度は歌に入ります。全員に立ってもらい、音楽を再生するのですが、その時先生が見本になって、動きをし、みんなに真似してもらいましょう。歌のポスターもご利用ください（または、歌の順番に合わせて、出てくる内容のフラッシュカードを白/黒板に貼り付ける）。曲を何度か再生し、みんな歌いながら動きができるようにしましょう。

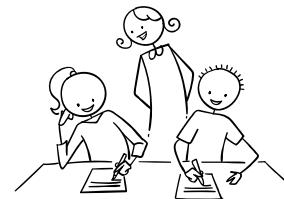


"I have a cough"

<p>「What's Wrong? What's the Matter?」の歌詞</p> <p>Chorus: Hello, hello, What's wrong? What's wrong? Hello, hello, What's the matter with you?</p> <p>Verse 1: I don't feel well, I don't feel well, I have a headache, I have a headache. I don't feel well, I don't feel well, I have a cough, I have a cough. I don't feel well, I don't feel well, I have a stomachache, I have a stomachache. I don't feel well, I don't feel well, I don't feel well today.</p> <p>Chorus</p> <p>Verse 2: I don't feel well, I don't feel well, I have a sore throat, I have a sore throat. I don't feel well, I don't feel well, I have a runny nose, I have a runny nose. I don't feel well, I don't feel well, I have an earache, I have an earache. I don't feel well, I don't feel well, I don't feel well today.</p> <p>Hmmm. It sounds like you have a cold!</p>	<p>「What's Wrong? What's the Matter?」の歌に合わせてする動き</p> <p>動きは、子どもたちの語彙の強化に役立ちます。歌を歌いながら、病気のジェスチャーを自然にやるようになるでしょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「Hello, Hello」の部分では、手をふりまします。 2. 「What's wrong?」と「What's the matter with you?」の部分では、心配しているような表情をし、分からない時にする、手のひらを上に向け、肩をすくめるジェスチャーをします。それから「you」のところでは、誰かを指さすふりをしてください。 3. 「I don't feel well」の部分では、悲しい表情をし、頭とお腹をつかむ。 4. 病気の語彙のところでは、それらのジェスチャーをする。 <ul style="list-style-type: none"> - headache: 頭を痛そうに押さえる - cough: 手で口を隠し、咳をする - stomachache: お腹をさする - sore throat: のどをおさえ、舌を出す - runny nose: 鼻をふきながら、すする - earache: 耳を痛そうに押さえる
--	--

7. 「What's Wrong Song 1」ワークシートをやる

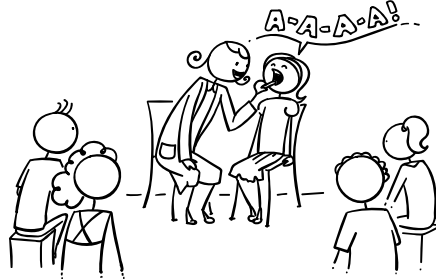
ワークシートを全員に配り、答えを埋めてもらいましょう。その間先生は、教室を回り、関連する質問を投げかけてください。



8. 先生／患者のロールプレー

レッスンの最後に少し楽しいことをしましょう。どなたか生徒一名に前に出てきてもらいましょう。先生が医者で生徒が（重病の）患者だということを説明しておきます。白衣や聴診器があれば、より本格的になり、レッスンも楽しくなるはずです。まずは、診療所を作りましょう – 椅子を向かい合うように並べてください。患者（生徒）は、ドアをノックするふりをし、先生の前椅子に座ります。「What's wrong?」と、医者である先生は質問し、生徒は、それに答えましょう（例：「I have

a stomachache」)。先生は、診察しているふりをします（脈をとるなど）。そして、「Ok, anything else?」と聞いて、他の症状の語彙を引き出してください（例：「I have an earache」）。また診察しているふりをしてください（例：口を開けてもらい、喉をチェックする）。このように、どんどん生徒から病気に関する語彙を引き出し、診察をするふりをしてみましょう（例：背中に聴診器を当てる、膝を叩いて反射をみる、耳の中を覗くなど）。



最後に、「Hmmm. It sounds like you have a cold!」といい、何か指示を出しましょう（例：「Go to bed and sleep all day」）。

今度は、全員にペアを組んでもらい、同じように医者と患者のロールプレーをしてもらいましょう。子供たちには、好きなように楽しんでもらいましょう。ただし、何度も流れに沿って繰り返しているか、正しい単語を使っているか等は、確認してください。しばらく経ったら、一番上手にできていたペアに前に出てきてもらい、クラスの前で行ってもらいましょう。

まとめ：

1. 宿題を出す：「What's Wrong Song 2」のワークシート。
2. 「ウォームアップ」及び「まとめ」レッスンシートに掲載されたアイデアを利用し、レッスンをまとめる。

- このレッスンプランで使用した絵カード、ワークシート、工作シート、リーダーズ、歌は全て kodomoeigokyoza.jp/esl-kids-lesson-plans.html からダウンロードできます。
- kodomoeigokyoza.jp/esl-kids-lesson-plans.html には無料でご利用いただけるレッスンプランが多数あります。

サイト上にミスがあった場合は <http://www.kodomoeigokyoza.jp/contact.htm> にご連絡ください。

このレッスンプランはこども英語教材(<http://www.kodomoeigokyoza.jp>)が作成したもので、著作権の保護下にあります。